

軍令

獨立混成第四旅團作戰新画概要
昭三〇四二八

附註

第一方針

隣接諸兵團ト協同シテ敵ノ上陸ヲ水際ニ擊
成スルト共ニ戰況ヲ推移ヲ豫測シ陸上面ニ
對スル敵陸地帯ヲ形成シ以テ軍主力ノ
重要ナル一翼ヲ担任ス

第二作戰指導要領

一沿岸ニ企圖スル敵、上陸ニ對シテハ其ノ規程
ノ大小ヲ問ハズ絶對ニ之ヲ海上ニ擊破シ已
ムヲ得ザルニ水際ニ雲滅ス
之が爲メ沿岸側防火器ハ好機ヲ促ヘテ敵
舟艇ヲ雲沈シ旅團砲兵ノ火力ヲ之ニ集中
シ軍砲兵及小隊方面砲兵ノ協力ヲ求ム

此際特ニ第廿二師團及小緑沿山岸ニ對
シテモ如カメテ緊密ナル協同ヲ行ヒ泊及那霸
南方水面ニ對スル敵ノ侵入ヲ阻止要攘ス
北方陸正面ヨリ遂次蚕食的ニ侵入ヲ企圖スル
敵ニ對シテ先ヅ旅團砲兵及迫撃砲ヲ以テ
第六十二師團ノ戰鬥ニ協力シ事前ニ之ヲ裏
摧ス
情況已カテ得ガルモ首里複廓陣地ニ連
繫スル旅團北正面ノ陣前ニ於テ完全ニ之
ヲ撲滅ス
三峯那原小緑方面並ニ漆川、糸満方面ヨリ
スル敵ノ前進ニ當リテハ軍ノ企圖ニ基キ
行動スルモ旅團トシテハ各當該正面ノ部
下

隊ト緊密ナル連絡ノ下ニ所要ニ應ジ該
正面旅團ノ陣地ニ兵力ヲ増強シ以テ軍
ノ一翼ヲ担任スル殊陣地戰ニ遺憾ナ
カラシム之ガ為ニ他ノ陸上攻戰正面ノ兵力
ヲ転用シ且ツ縱深陣地ヲ設備ス
四對岸挺戰鬥ハ敵ノ上陸(進出)方面ノ我後
方ニ於テ小規模ニ之ヲ豫期シ眞和志村或
ハ津嘉山周辺ニ大規模ノ戰鬥ヲ豫
期ス之ニ對シテ湖ニ從來ノ要領ニヨル
時宜ニヨリ那霸南方湖水ニ敵水上機ニヨ
ル遊撃的小戰鬥ヲ豫期シ全若岸部隊
ハ之ニ對シテ準備ヲ行フ
五戰鬥法ニ就テ強調スベキト莫厄ノ如シ

人熾烈ナル砲爆ニ堪ハツ。近接戦中ニ勝ヲ求ム

二重要時機ニ於テハ、アサニル火器ヲ以テ空ヲ西復
ヒ我火器特ニ砲兵及重火器ノ射撃ヲ掩護
シ物の戦力ヲ一莫ニ結集シテ敵ヲ壊滅ス
三現戦訓ヲ徹底的ニ活用ス

各部隊ノ任務

一軍階區分 九ノ如シ

北地ニ隊

獨立混成第五聯隊
獨立速射砲第七大隊
迫撃第一中隊
白砲隊第一中隊

中地ニ隊

特設第一大隊隊長
長

第一軍階第一大隊特設中隊隊長(四ノ欠)
獨立第三大隊(一中隊欠)

南地ニ隊

艦砲兵第二大隊隊長
艦砲兵第三大隊(一中隊欠)
艦砲兵第四大隊
獨立第二大隊

砲兵

旅團砲兵隊

工兵

旅團工兵隊

直轄部隊

獨立第三大隊第一中隊
高射砲第三中隊

各地に隊長、其他区内ニシテ、第百一師
團、隊置部隊ヲ併シ、指揮スルモノトス

ニ、戦斗（作戰地境）左ノ如シ
隣接兵團ト作戰地境

第六十二師團

獨立混成第四旅團

安謝川—内閣—未吉—松川
繁田川—首里城趾

第二十四師團

獨立混成第四旅團

首里城趾—トチバシ—国場東端
—津嘉山西端—宜壽次

沖繩根據地司令部

滿原—鏡波川—奥武島公園北端

獨立混成第四旅團

—那霸新港

線上其他兵團ニ屬ス

各地区隊トノ作戰地境

北地区隊

間線

松川南端—奥武島公園南端ヲ連スル

中地区隊

間

線ハ北地区隊ニ屬ス

国場川—国場南端ヲ連スル線

南地区隊

線上ハ中地区隊ニ屬ス

三 各部隊ノ任務左ノ如シ

北地区隊

1. 沿岸ニ上陸ヲ企図スル敵ヲ海上(水際)ニ盡滅ス

2.

北方陸正面ニ對シテハ特ニ第六十二師団ト連繫シ首里複廓陣地ト共ニ陣前ニ於テ之ヲ毀滅ス

陣地ハ縱深ニ亘リ首里—那覇街道ノ線ニ斜交陣地ヲ設備ス

日 隣接各部隊前面ヲ側防シ泊及那覇南方湖面ヲ警戒ス

各地區隊ノ作戰地境

北地區隊 關 松川南端ノ奥武田公園南端ヲ連ス

中地區隊 關 線上下北地區隊ニ屬ス
關 駒場川ノ國場南端ヲ連スル線

南地區隊 關 線上下中地區隊ニ屬ス

三、各部隊ノ任務表ノ如シ

北地區隊

1. 關 駒場川ノ國場南端ヲ連スル線ノ南側ニ據ル

2. 北方陸軍方面ニ對シテ防禦ヲ行フ

南地區隊
關 駒場川ノ國場南端ヲ連スル線ノ北側ニ據ル

中地區隊
1. 四周ニ對スル防禦ヲ完備スルト共ニ全

縱深ニ亘リ陣地ヲ構築シ旅團ノ中核ヲ

形成ス

2. 眞和志存在及津嘉山附近ニ豫期スル對空挺

戦ヲ準備ス

3. 隣接部隊ト連絡シ且ツ那霸南方湖面ヲ

警戒ス

4. 旅團ノ爲機動ヲ準備ス

南地區隊

1. 四周ヲ防備シ隣接部隊ト協同シテ旅團南

方ノ據点トナル

- 2 軍砲兵ヲ掩護ス
- 3 津嘉山附近ノ対空掩蔽ヲ準備シ且ツ
地区周辺ノ湖面及河川ヲ警戒ス

砲兵隊

- 1 先ツ海岸正面及北正面ニ対シ全火カヲ準備
シ次ニ爾他ノ陸正面戰鬥ヲ準備ス
- 2 陣地占領ニ関シテハ軍砲兵隊長ノ正處ヲ受
ク
- 3 戰鬥ニオリテ緊密ニ第一線歩兵ニ協同シ且ツ
所要ニ應ジ軍砲兵ニ対シ火カヲ増加ス

高射砲隊

先ツ海岸及北正面ニ配備シ対舟艇及対戰
車射撃ニ任ス
中所需ニ應ジ対空射撃ヲ以テ地上戰鬥ヲ有
利トス

工兵隊

識名ニ位置シ先ツ旅團司令部ノ設備ヲ行
ヒ次ニ中地区ノ重要工事ニ任ス

第四補給

一作戦地境内ニアル物資ハ在來部隊ノモノト雖
モ凡テ之ヲ利用ス

二補給基地ヲ中地区ニ置キ在津嘉山補給諸廠ヨリ補充ヲ受クルモノトス

三己ムヲ得サレハ舊防衛地区ノ残置品ヲ以テ補充スルモ特ニ熾烈ナル敵ノ砲撃ニヨル損害ヲ極力避ケルモノトス

第五 交通通信

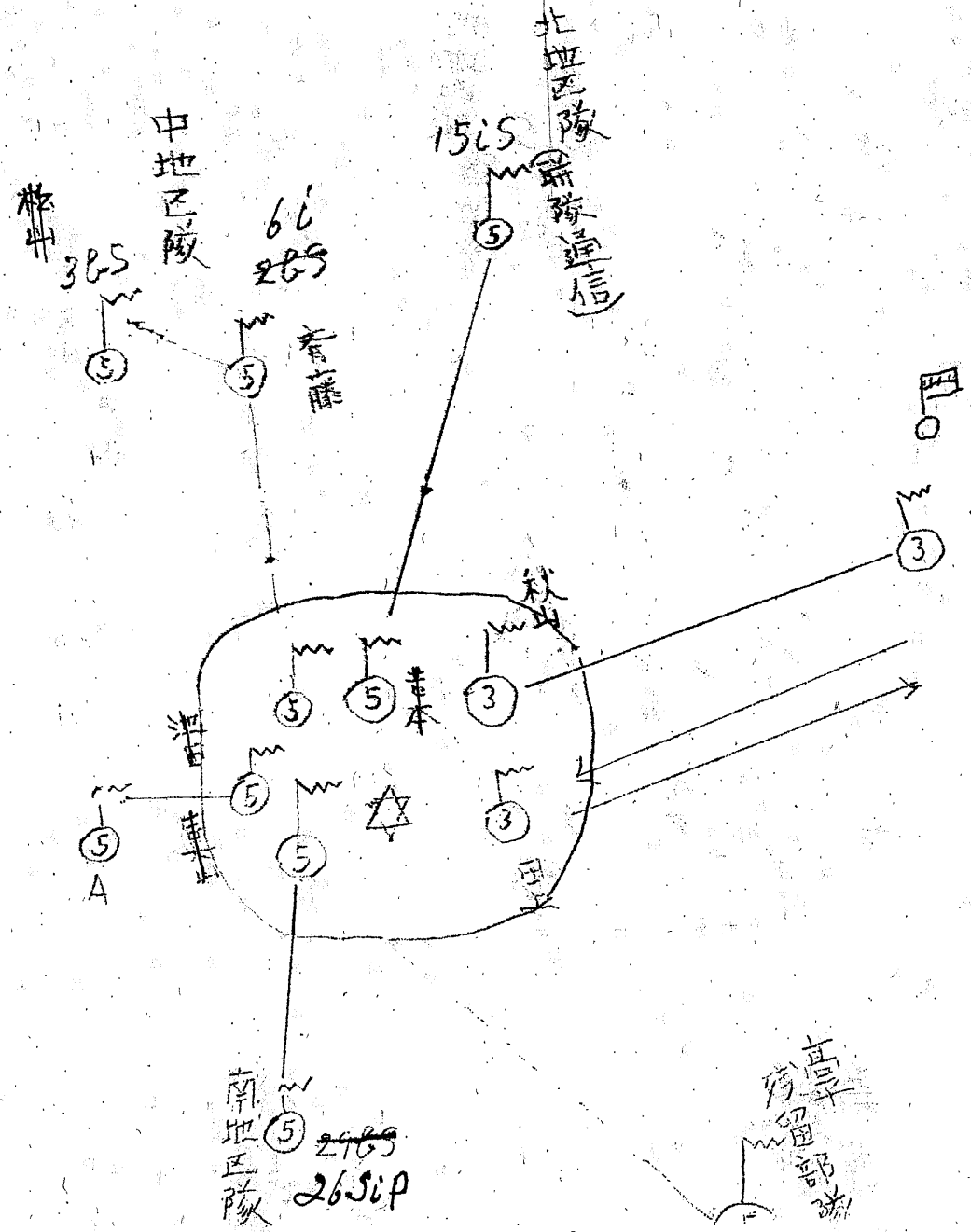
一各地区内主要道路殊ニ橋梁ノ修理ニ関シテハ輕易ナルモノハ各地区隊ニ於テ技術ヲ要スルモノ及大工事ハ工兵ヲ以テ之ヲ修理ス
二有線通信ハ在來線ヲ利用スルト共ニ重要線ハ携行器材ヲ用ヒ且ツ路線ノ選定及設備ヲ堅固ナラシム

三有線及無線文信系ノ如シ (附圖)

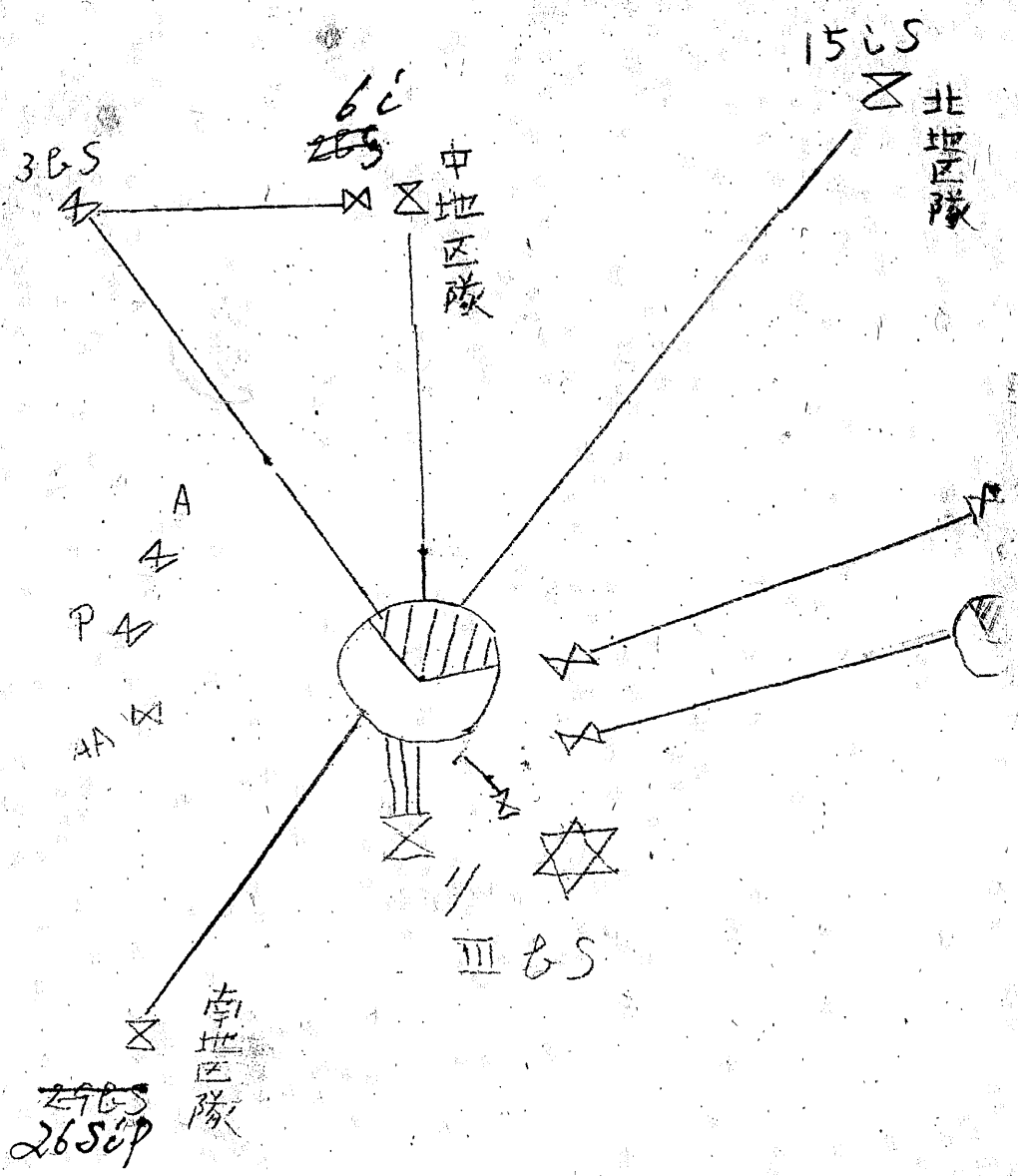
第六

患者ハ成ルヘク在津嘉山軍病院ニ修治スベキモ各地ノ收容力ニ鑑ミ各部隊毎ニ之ヲ治療スルモノトス

旅團無線通信網要圖



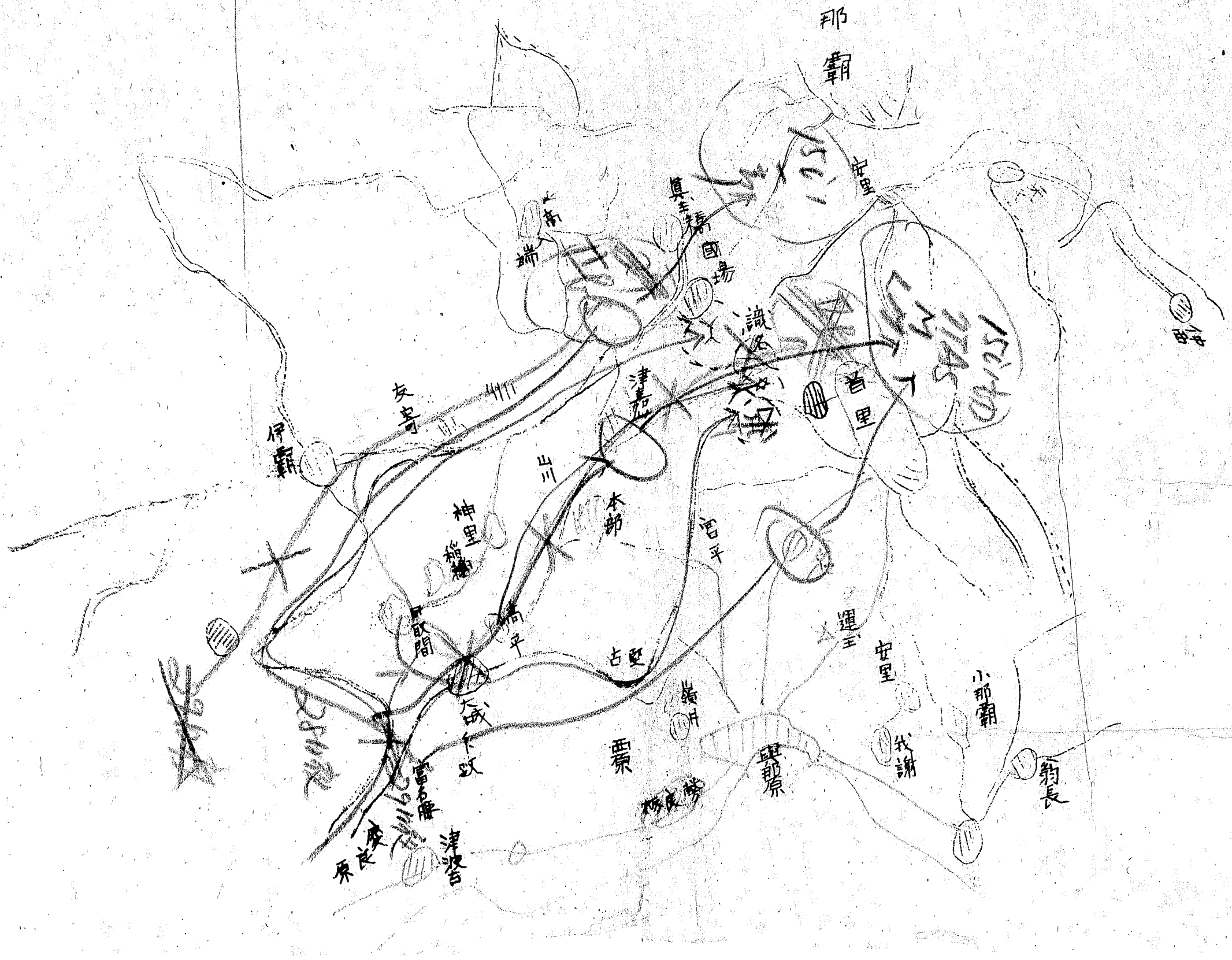
圖網通信線有線團旅第四混成



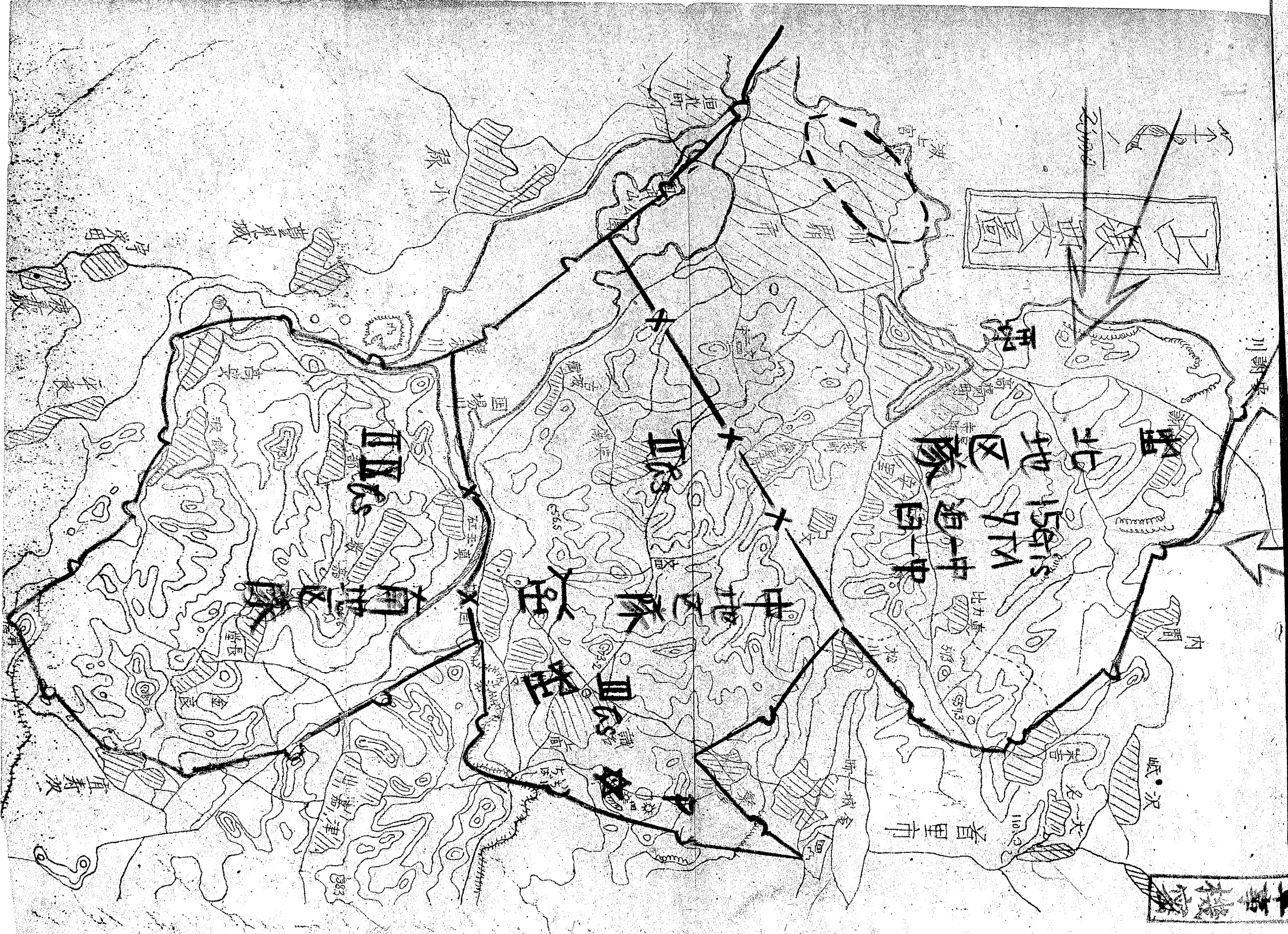
此圖係根據旅團無線通信網要圖及旅團有線通信網要圖繪製而成，其內容與原圖一致，惟因篇幅關係，部分細節未能完全展現，特此說明。

1292

山田
家



分給



上陝要圖

158師
北地
區
追一中
隊

中地
區
追二
隊

南地
區
追三
隊

軍事機關

川謝安

岷·次

首里市

新·城金

追四

追五

追六

追七

洛水

豐泉城

高安

安堡

堂長

金長

直春次

牙長

字

2000



德威